

講義名：世界市民ー日本とアメリカの刑事司法制度　＜春＞		ナンバリングコード： 0	
担当教員名：大久保　正人			
研究室：聖アンデレ館8階820号室		オフィシアワー：金曜日3限	
メールアドレス：　horatio@andrew.ac.jp			
授業形態			
『講義』			
講義・演習概要			
これまで、多くの市民にとって刑事司法制度（「捜査」や「裁判」など）は、警察や裁判官・検察官・弁護士といった法律の専門家だけが関与するものであり、日常生活とは関係のない「他人事」であると考えられていました。しかし、裁判員制度が導入された社会においては、一般市民であっても刑事司法制度に無関心でいることは許されず、その「準備（心構え）」をしておくことが必要になっています。 本講義においては、裁判員時代の一般市民に必要とされる、刑事司法制度の「基礎」を学習します。 （昨年度までとは講義の形式を全面的に変更していますので、受講に際しては、くれぐれも注意してください。） ★★★重要★★★　下記、成績評価の方法「コメント」欄を、声に出して読んでください。			
学習目標			
本講義は、刑事司法制度を初めて学ぶ学生を対象として、制度の「全体像」を把握することを目標とします。 まじめに勉強する学生向けの講義です。			
講義・演習計画			
【第1回】はじめに　～刑事司法制度とは何か～			
【第2回】刑事手続の流れ			
【第3回】裁判員制度（1）基礎知識編			
【第4回】裁判員制度（2）世界の裁判制度編			
【第5回】裁判員制度（3）実践編			
【第6回】アメリカの刑事手続（1）概要			
【第7回】アメリカの刑事手続（2）陪審制度			
【第8回】アメリカの刑事手続（3）司法取引			
【第9回】刑罰制度（1）懲役・禁錮・罰金、犯罪者の処遇			
【第10回】刑罰制度（2）死刑			
【第11回】少年と犯罪			
【第12回】精神障害者と犯罪			
【第13回】犯罪と捜査（1）犯罪編			
【第14回】犯罪と捜査（2）捜査編			
【第15回】おわりに　～総復習～			
成績評価の方法			
試験	100%	レポート	0%
出席			0%
コメント	注意：以下の「コメント」を声に出して読んで上で、納得できた学生だけが受講してください。		
	★ 初回の講義に「欠席」した学生は、受講そのものを認めません。（初回の講義では「出欠」を確認します）		
	★ 講義中に数回「抜き打ちテスト」を行う予定です。（事前の告知は行いません）		
	★ 抜き打ちテストの「結果（得点）」によっては、学期末試験を受ける資格を失います。（単位を修得できません）		
	★ 私語や携帯電話の使用に対しては、注意するのではなく、その場で直ちに「除籍」とします。（単位を修得できません）		
	★ 昨年度までとは講義の形式を全面的に変更しています。（先輩の情報を信用した学生は、必ず後悔するでしょう）		
	★ 単位の修得が「極めて難しい」講義ですので、覚悟を決めて、誇りを持って受講してください。		
テキスト			
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
参考文献			
テキストは使用しません（詳細なレジュメを配布）。			
参考文献は、必要に応じて紹介します。			
事前および事後学習の指示　（事前学習　30　時間　・事後学習　30　時間）			
予習：新聞・テレビ・ネット等を通して、刑事司法制度に興味を抱いてください。			
復習：配布したレジュメを読み返して、想像力（妄想）を膨らませてください。			
その他備考（担当教員用）			
キーワード			
備考（管理者用）			

